
令和5年度前橋市
ヤングケアラーに関する実態調査
自由記述

令和6年3月

(調査1：問34)

家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてもらいたいことなどを自由に書いてください。

学校への要望	<p>もっと暮らしやすい社会になるように、ヤングケアラーになっている人の意見もしっかり聞くべきだと思いました。また、相談することが大切だと思っていますが、成績に反映してしまうことなどが原因で相談できない子もいると感じます。</p>
	<p>先生に相談したら、親に内容がバレるのではないかと不安から、相談に行かない人が多数だと思います。また、相談室が人通りの多い所であり、周りの目が気になって入りづらいことも、相談に行かない要因ではないでしょうか。</p>
	<p>私の学校では、担任の先生に一言断ってから相談室に行かなければなりません。友達がいる教室内でそういった話をすれば、必然的に話が漏れてしまい、好奇の目に晒されることでしょう。以上のことから、相談に行きやすい環境作りを是非ともお願いしたいです。大人に相談しろと言う割に、学校側はそういったことが不徹底だと感じます。ご検討の程、宜しくお願い致します。</p>
	<p>ヤングケアラーは自分がやりたくてやっているという人が多いと思うため、学校の授業を録画し、ヤングケアラーの人でも授業が受けられるような制度があると良いと思います。また、ヤングケアラーは自分のことを後回しにしてしまう(自分の時間が取れないなど)があると思うため、ヤングケアラーだと思われる人に無料のサービス(手伝いサービスなど)があると自分の時間が取れるようになると思いました。</p>
周囲の配慮・理解	<p>どの子がヤングケアラーなのか、なんで学校に遅れてくるのか、分かり易すぎる。本当に私がヤングケアラーになったとして、手厚すぎて周りにバレるなら、相談しようと思えない。周りに知られないようにする、もしくは周りに知られないような努力をしてるっぽくする必要があると思う。</p>
	<p>勇気を出してヤングケアラーと伝えてくれた子には、態度だけでなく心の底からより沿ってあげてその子にとって何が一番大事なのかを考えてほしい。また、このアンケートでも伝えられない子はたくさんいると思うから、私たち生徒の変化を日頃からよく見ていてほしい。声をかけてくれるのを待っている子がいるはずだから。</p>
	<p>お世話をしている子供は誰にも言っていないから自分でやってると思うのでもし先生や周りの人は前と違うなあって思ったら家族のお世話をしてくれる子供に優しくなんかあったのて聞いてあげたらその子供は安心できると思います。</p>
	<p>ヤングケアラーの子供が分かって、干渉し過ぎないのがいいと思う。でも、その子供の成長に差し支えがあるなら、出来るだけ子供を優先してほしい。子供にとってはすごく荷が重い事だと思うから。でも介護される側の人にも配慮してほしい。</p>
	<p>自分が大変で相談できないとか、自分の気持ちなんてわかってくれないと思う人もいます。そういう人のためにまず隣にいてあげたりコミュニケーションをとってあげることで自分の味方と思ってきて本当の気持ちを話してくれたりする。そして話すことによって対処法が出てきたりすると思った。自分が知らないところで悩んでいる人がいるのは確かだ。それを少しでも減らすために聞いてあげるといって1つの解決方法があるのではないかと思った。</p>
<p>誰がヤングケアラーなのか分からないし、本人も言わないとは思いますが、辛そうにしていたり、少しでも顔色が悪かったり、何か相談されたら相談に乗るべきだと思う。話を相談するだけでも気持ちは少しでも楽になると思うし、心強いとおもう。</p>	
専門機関の協力	<p>なるべくヘルパーなどの仕事をしているような専門の方にお世話を仕方・お世話を方法を聞いたらある程度安心すると思う。もちろんその手の方にお世話を任せられるなら任せ方がいとも思う。</p>
	<p>自分がその立場になった時、ひとりでまたは家族だけで背負ってしまいがちだと思います。福祉サービスや専門家への相談などの知識もないし、ただ目の前の事でいっぱいになってしまい、自分を犠牲にしてなんとかするしかないと思込んでしまう。もっとそれらが身近にあれば、相談していいんだ、頼れる所があるのだと気付けると思います。</p>
	<p>家族のお世話をしていると、個々の時間が取れなくなり学生だと勉強に支障が出てしまうと思う。なので、市や病院に相談しやすくするためにネットでのアンケートをやるのがいいと思う。でも、家だとやりづらいかもしれないから学校で紙のアンケートも行った方がいいと思う。その際、学校側には見られずに(自分で封筒に入れてのりづけをするなど)市役所等に届くようにすれば安心して相談できると思う。長文失礼しました。</p>
地域社会	<p>お世話している人とヤングケアラーの人を引き離したりヘルパーさんを入れるわけじゃなくて家族全員知っている近所の人や知り合いが家事をするわけでもなくてただ家に来るだけや困っていることを聞くことがいいと思う</p>
	<p>近所の人や身近な人など信頼できる人に相談をしてみる必要があると思う。地域の人との交流や相談をしてくれる医師と定期的に相談会を作ることが大人の人にしてもらいたいこと</p>
	<p>近所で、その家族の手伝いをしたりお互い協力する意識をもっとほしい。また、挨拶は必ず返してほしい。</p>
経済支援	<p>自分はヤングケアラーだと言える環境をつくる、学校だけでなく、地域や親戚、友達などの身近な人にも。またそれに対してちゃんと対応する子どもでも相談できるようなヘルパーさんを雇うアプリ(LINEなどで)</p>
	<p>お金を寄付してもらってヤングケアラーになっている人にあげるといいと思います</p>
	<p>かかる費用についてはよく知らないが、「お金がなくて専門の方に相談・依頼できない」という家庭があるのなら資金援助や無料(もしくは低額)の講習会を開いてくれると少しは楽になるのではないかとも思う。</p>
<p>自分の時間を作ってあげるために、ちょっとした無料のサービスがあればいいと思う(食事・健康について・勉強など)でも、本当に助けが必要な人を助けても、助けた人が助けた。いいことをした。って思っているだけで助けを求めている人は本当に助かっていないことがあるということを知ってほしい</p>	

不満・訴え	<p>気づいて欲しい難しいことかもしれないが、誰にも言えない事情があるかもしれないから違和感を持ったりしたら気にかけるなどして欲しいの思う。見て見ぬ振りをしないでほしい、「偉い」で片付けしないでほしい</p>
	<p>あいつ全然学校来ないよな。さぼりかな。と思われたいようにしたい。それでいじめてとか起きてほしくない。</p>
	<p>ヤングケアラーの子達が尊重されるようにしてほしい。もし、ヤングケアラーの子に関係している話を、ある子がみんなの前でしようとしていたら、先生たちには止めてもらいたいです。</p>
	<p>人を派遣して助けてあげてほしい。アンケートだけで終わらせてほしくない。</p>
	<p>言っただうにもならないだろうからそっとしとけばいいと思う。余計なお世話</p>
	<p>自分的に何もしないで(関わらないで)欲しいです</p>
	<p>無駄なことはしないで欲しい</p>
<p>その人が言いたくないことは聞かないでほしいけど、気にかけてあげてほしい</p>	
意見・感想	<p>自分1人だけでお世話をしているのはとてもきつかったです。最初はよく知らなかったけど先生の話やインターネットを通して少しだけ知れたので少しでもそういう子達が減ってこれ以上は増えてほしくないなと思いました。そしてそういう子を減らすためには少しでも家族または違う人など1人でも頼れる人がいたら頼ってまた頼れる環境にしていけたら少しでもヤングケアラーの子が減るといいなと思いました。</p>
	<p>ヤングケアラーに当てはまる人は、人に相談しないで隠し込んでいる傾向があると聞いたので、大人たちは子供の異変に気づける、話しかけてみるといった点が大切になってくるのだと思います。けれど気づけられないことも多くあると思います。学校で対応できる方法としては、定期的に今回のようにアンケートを実施するべきだと思います。自分からすればあんまり大人に相談せず、友達に相談すると思います。なので「周りの人にヤングケアラーのような人はいますか？」のような項目も大切になると思います。</p>
	<p>もし自分自身がヤングケアラーだとしても、「家族に遠慮してしまう」「大ごとにしたくない」というような考えから、自分から周りに言い出すことができないと思う。そのようなことで悩んでいる人が少しでもいなくなるには、気軽に相談できる場所があることを知ったり、学校などが家庭の様子をしっかりと把握することが必要だと思う。また子供がいてもいなくても、ヤングケアラーという言葉を知ることが大切だと思う。</p> <p>この前までは、ヤングケアラーってあまり知られていない言葉で、あまり大したことないと思っていたのですが、しっかりヤングケアラーという内容を知り、ヤングケアラーをしている子どもたちは、大変なんだなと気づき、びっくりしました。やっぱり、ヤングケアラーについて、答えにくい人もいないかもしれないけれど、こーゆうヤングケアラーのアンケートを答えることによって、他の人には相談したくなくても、相談ができたり、自分ができなかったこと、また、自分がやりたかったことができると思いました。ヤングケアラーのことが相談できない人にとっては、いいアンケートだと私は思いました。(長文失礼しました)</p>

(調査2：問20)

児童生徒が家族のケアにより、学校に登校できないなどの学校生活に大きな影響が出ていることを知ったとき、あなたは教職員としてどのような支援ができると思いますか。

学習	リモート授業、リモート面談
	家庭訪問をして児童や保護者と話し合いを持ち、実態を把握する。家庭でできる学習などの支援を行う。リモート授業や学習プリントなど公的な機関と繋がられるようにする。
寄り添い	担任と共に保護者と面談し、児童生徒の登校に支障が生じていることの実事確認と、公的な支援とのつなぎ、仲立ちの提案
	保護者に連絡を取り、子供を心配している様子を伝える。その後本人と話す機会を設けるなどし実態把握に努める。保護者を責めるのではなく、一緒に向けて改善していく方向で話し、外部機関などの様々な支援方法を提案していく。生徒の支援は学校することも強調し、外部機関に丸投げではなく、一緒に考えていく姿勢を家庭も見せていくと思います。
	本人の頑張りや我慢している気持ち、家族を心配している気持ちなど本人に寄り添う支援。福祉サービスがあること・それを受けられるかもしれないことやその対応を管理職と相談し、複数で支援の対応すること。
	児童生徒の不安や悩みに寄り添い、話を聞いたり、相談にまずはの。今の環境は自分のせいではないことを伝え、学校全体で情報を共有し、外部の機関等と連携し負担の軽減や改善を目指す。
連携	家庭の中の様子は、知られたいと感じているケースも多いように感じるので、日頃から学校と保護者との信頼関係を築き、スクールカウンセラー等と連携しながら、支援の選択肢を一緒に考えていけるよう体制を整えていきたいと思います。
	全体を大きく方向を変えるようなことはできない 本人の要求する、小さな、具体的なこと（話を聞いてあげること、訪問してちょっと学習支援をしてあげること、自分の時間を確保するために家以外の場所を共有すること）でかわりを持ち続けること
	生徒から生活の様子を聞き取りどんな支援が必要かを考え、学年会、教育相談委員会等で、情報を共有し、外部機関との連携を検討する。
	実態の把握と、それに伴い学校と行政の関連機関がどの程度かわかることができるのか見極め、学校だけではなくあらゆる機関と連携して対応することが大事だと思う。そして担任だけで抱え込むのではなく、学年等の複数の教員で関わる必要があると思う。
課題	児童生徒本人と面談する。困っていること。家族としてすべきことの中でできることは何か、他人に力を借りるべきは何かについて相談にのる。また、困難なことを乗り越えるためにも、今は学習も大切だと伝える。保護者に問題があるときは教育相談を行い無理なら、関係機関と連絡を取りながら、登校を継続できるような環境づくりや生活習慣づくりをする。
	県や市や町の児童福祉施設や児童相談所に連絡して連携をとったり、地区の民生委員に知らせ生活面を見てもらう。学校として担任として出来る事をする。 (学習面のサポート。児童の話をよく聞いて子供の気持ちを受けとめる。)
	とても難しいです。地域の機関と連携していた経験はありますが、学校以外の何かしらの機関との連携がないと、家庭訪問をして、様子をうかがうくらいしか、普段はできないのではないかと思います。
	できることはしてあげたいと思いますが、それを全て学校が行うのは違うかなと思います。外部機関で対応できるしくみが必要かなと思います。
	まずは本人の話を傾聴し、状況の確認や本人の気持ちについて聞きとる。ただ、その先の支援については、SCは身近な相談先であるが、来校日が少ないこと、外部の連携先として考えられる機関が不明である。ケースによるが、緊急性が高いネグレクト状態であれば児相へ連絡かもしれないと想像する。

(調査2：問21)

ヤングケアラーを発見・支援する上で、学校以外の機関に実施してほしい支援や、連携上の課題について教えてください。

実施してほしい支援	家庭訪問も縮小され、児童の家での様子や生活が見えない部分が増えている。生活の実態等、気になる情報を共有できるようになると有難い。また、ヤングケアラーの疑いがある場合、どのような機関に連絡し、どのような手順でどのような支援をしてもらえるのか、具体的な流れが周知されるとよい。
	生活保護を受けている家庭に多い傾向がみられることから、社会福祉課と情報交換するなど連携していけるとよい。
	家庭訪問や見守り、経済的支援や福祉サービスを利用するための手続等についての説明、児童生徒の放課後の居場所づくりや学習支援関係機関との連携には、情報交換のための連絡や家庭への丁寧な説明が必要であり、校内に連絡調整を行う窓口が必要だが、教頭や生徒指導担当の業務がさらに増えていくことになってしまう
	実際にヤングケアラーだと認知された事例、解決策や相談窓口を講演等で広く周知する。
	担任等が、該当児童を発見し、相談できる信頼関係ができたとき、その担任等が該当児童にかかわる時間を確保するために、その担任等の業務を「代行」する人員を確保・配置すること。
	語り合う場（ネットやサークルなど）や相談窓口を周知する機会がもっと増えるといい。学校からつなげるネットワークが一覧になっていると有難い。医療機関や訪問介護などの機関で把握した情報が学校現場にも届いて連携できるといいと思う。
	家庭訪問や家庭内の状況把握及び、学校ができること、すること、してはいけないことの線引き等のマニュアルが欲しい。
	福祉課などが訪問した時に学校に様子を知らせてほしい。家庭内（特に経済的なこと）はなかなか話を聞けないし、話してもらえないので、家庭内の様子について情報をもらえるとうれしい。
	担任だけで抱えたり、解決するのは難しいと思うので、専門機関とのつながりがあると良いと思う。専門的知識を持った人のサポートがあると心強い。
	引き続き、児童生徒、保護者へのアンケートをしていただきたいです。
児童相談所や市社会福祉課の積極的な介入、専門的立場の人材による生活改善に向けた指導・支援	
各家庭に担当の社会福祉士をつけてほしい。教員が把握するのは業務外だと思う。	

提案	<p>家庭内のことなので、地域の見守りも重要であると思う。家庭の状況の把握については、地域住民、学校、行政、医療関係機関、企業、NPO等の団体等が連携していく必要があるが、個人情報の保護に課題もありそうだ。医療、福祉関係の利用者の家族構成を洗い出せば、ヤングケアラーの該当者を絞り出すことはできそうか。</p>
	<p>ヤングケアラーの家庭の相談にのったり、学校と連携をとったりできるように家庭や学校を訪問してほしいと思います。</p>
	<p>地域毎に地区内の見回りや情報共有などを行い、心配な家庭については定期的に声かけや訪問を行い、地域の方からもサポートしてくれる機関等を紹介したり、児童の学校生活に関わる必要な情報は教育委員会や学校と共有していけるとよい考える。</p>
	<p>経済的な理由で外部への支援を求められない生徒が多いと思われるため、ヤングケアラーのいる家庭が専門機関を利用する際に、支援金があるとよい。しかしこれは国が行わない限り地域差も出てしまい、審査等の必要性もでてきてしまうことが課題である。</p>
	<p>家庭や児童がヤングケアラーとしての自覚があったとしても、学校に相談したり、外部機関へ自分から連絡することは難しいと考える。そういった情報を得たときに、各学校へSCやSSWの配置が一番ヤングケアラーへの支援につながるのではないかと考える。</p>
	<p>家庭訪問がなくなってしまったため、家の中の状況がつかみにくいと感じています。やはり、ゴミがたまっていたり、庭が荒れているなど何かしらのシグナルは、近所の方の方が気づいてくださるのではないかと思います。そこで、地域の方との連携や情報交換ができるとありがたいと思います。</p>
	<p>外部講師の方からヤングケアラーについて説明をしてもらい、児童が知る機会を設けられるとよいと思います。「ヤングケアラー」が自分の生活にあてはまるかを意識するきっかけになると思うからです。児童が、自分のことを大切にしたい生活ができるようにしたいです。</p>
	<p>発見したことを報告した後、調査や家庭を訪問し、適切な支援や書類などの申請と一緒にしてくれる機関や制度が必要だと感じます。多くのヤングケアラーを抱えるような家庭は、申請できることを知らない、知っていても手続きが煩雑なため行わないということが多かったからです。</p>
	<p>特配で教員を増やす</p>
	<p>ヤングケアラーの児童が発見された場合は、専門的な知識のある方と連携を取り合い、直接家庭や児童と関わる時に同席してほしい。</p>
課題	<p>本人はとて、負担を感じているものの、家庭内の問題で、本人にとっても、これが当たり前と、感じてしまい表に出にくいので、学校以外の機関が、もっとオープンな感じて家族が負担におもわないように家庭内に入れるような制度が、あるといい。</p>
	<p>支援をする上で、職員やssw、sc、外部機関と連携を確実にとって、生徒本人が家族との確執でより苦しい状態にならないようにしたい。けれども、各機関がどのように働きかけるのか、特に外部機関の方が家族・本人にどのようなスタンスで接するのか不透明であること。</p>
	<p>外国籍家庭や片親家庭への訪問</p>
	<p>外部の介入を強く拒否する家庭への働きかけの仕方が難しい</p>
	<p>実施してほしい支援として、家庭訪問および保護者の状況確認。必要に応じて保護者の相談にのることと必要な支援を行うこと。連携上の課題としては、学校と学校以外の機関の、どちらが支援の主となるかということ。</p>
	<p>ヤングケアラーとして、学校で認識されれば、外部機関と繋がることできるが、その後、学校や外部機関と、情報を共有することが、難しい。</p>
	<p>学校以外の機関がどのように対応してくれるのかが分からない。また、ヤングケアラーが心配される家庭に学校のSSWが急に訪問することに対して不信感を抱きかねないので、市の福祉部等が自然と心配される家庭に関わっていける体制を作ってもらいたい。</p>
	<p>その家庭の介護サポート体制を組織として整え、生徒が学校に登校できる余裕、時間を確保すること。家庭と学校と関係機関の三者で連携が取れば、課題が見つかって解決できる可能性はある。ただ、三者の連携が果たして上手く機能するかが疑問である。</p>
	<p>行政の方との話し合いの場がなかなか難しい。</p>
	<p>保護者や児童が学校に支援を求めている状況で、家庭に介入することが難しい。</p>
不満・訴え	<p>学校が家庭に介入しすぎると、かえって関係が悪化する可能性が高いと思います。プライバシー等相手側から言われると、それ以上は何もできません。学校の人手不足や業務量を考えると、ヤングケアラーについて学校だけで背負うのは無理があると感じます。関係機関とのつながりが強くなる、コンタクトがとりやすくなるとありがたいです。</p>
	<p>発見することはできるが、家庭の問題を学校で解決することや踏み入ることは難しい。発見以降の支援は外部機関でお願いしたい。</p>
	<p>どうしたらよいか正直わかりません。</p>
	<p>日々の業務の中で連携をとることが難しい</p>
	<p>該当生徒と学校でつながる時間をつくってほしい。</p>
	<p>地域の方や専門機関との連携が必要だと思う。学校業務の中にそのための十分な時間の確保は困難になると思う。教科の増加負担で、教科準備の時間さえ確保が大変厳しい中、児童の生活面を含めて色々なことが教員の仕事に加わり、教員は時間の確保が大変苦しくなっていると感じる。</p>
	<p>発見はできても、教員が支援できることは時間的な問題で限られる</p>
	<p>学校に丸投げしないでほしいです。</p>
	<p>打合せをする時間が足りない。</p>
	<p>負担の増加</p>
<p>学校機関以外の機関が主導して積極的に家庭に関わってほしい。これ以上学校に負担がかからないしくみづくりをお願いしたいです。</p>	

(調査2：問22)

ヤングケアラーへの支援に関して自由にご意見をお書きください。

学校のこと	<p>学校にできることは限られています。せいぜいアンケートや面談による実態の把握程度かと思います。学校と連携を図るとなると結局学校への負担も増すことになり、また、かえって時間がかかり、支援が遅れると思われます。ヤングケアラーは切実な問題ですが、現状これ以上学校の業務が増えると授業等の本来の仕事にも支障がでますし、さらに残業や休日出勤が増えます。できるだけ学校がかかわることなく専門機関が積極的に支援できるようにすることがいちばんよいかと思います。</p>
	<p>行政の仕組みを理解していない人が学校には多くいます。教師が知っていれば保護者にこんなサービスがあります等のアドバイスができるかもしれません。少なくとも管理職には研修を行い、社会福祉関係機関の有効な活用が理解してもらっているとよいのではないかと感じています。</p>
	<p>家庭のことで困って、自由な時間や学校生活がない子どもたちが少しでも少なくなるように、学校でできる支援を勉強していく必要があるなと思います。</p>
	<p>発見の一部の役割は学校が担い、支援は学校外の機関に任すべきかと。 支援まで学校ですとなっても、結局は絵に描いた餅になるだけ。そうならず上手くヤングケアラーを支援出来たとしたら、教員への支援がさらに必要になるだけです。 だから、もしも本気でヤングケアラーの発見・支援を学校に担わせるのならば、何かをスクラップにするべきです。そうでなくては、ビルドできません。</p>
地域のこと	<p>プライバシーに関することもありますので、なかなか踏み込みにくい。家族のおもつをかえていたり、食事の用意を日常的に用意していたり、下の兄弟を夜に面倒をみていることが日常となっている小学生をみると、何かできないかと考えるが、なかなか支援の仕方が分からない。どこまで学校で行うべきか疑問に思う。虐待のネグレクトと重なる部分はあると思うが洗濯していない衣服をきている児童の服を学校の保健室で洗うことが、養護教諭の仕事なのか、等どこまですればよいのかわからない</p>
	<p>児童生徒の困り感や不登校など目に見えた諸問題がないと学校はヤングケアラーの疑いがあっても支援するのは難しいと考えています。児童生徒の訴えがあっても、家庭に入り込むには、ある程度の信頼関係がないと関わることも難しく、児童生徒の話聞き心のケアをすることやSSW、SC、児童相談所への相談、情報提供までが学校のできる範囲だと思いますが、子ども食堂など子供がかけこめる地域団体などと連携が取れるような体制が今後できるといいなと思っています。</p>
	<p>地域社会がもつべき機能が希薄化していることが問題だと思います。</p>
	<p>学校だけでなく、地域全体で支えていける社会になればいいと思う。</p>
要望	<p>家庭内の実態が見えにくく、児童も自ら話すことが難しい内容なので、どうしても把握するのに時間がかかったり他の事を優先にしまったりする。地域の方や掛かり付けの病院などと上手く連携出来れば少しは情報が得られるかもしれない。</p>
	<p>福祉・介護・医療・教育など幅広い連携が必要であるので、中心となって指導、支援する専門機関が必要であると考えます。</p>
	<p>児童生徒が学びの機会を失わないように教育委員会以外の組織、機関と協力と連携を強化されることを望みます</p>
	<p>学校と専門機関と家庭が連携して対策することが必要だと思います。生徒も教職員も一人では抱えてはいけない問題だと思います。</p>
意見・感想	<p>子どもの話を全て鵜呑みにすると、事実と違うこともあるため、ヤングケアラーかどうかの判断は難しい。本気で対策をとるなら、家庭的に問題がありそうな家、(就学時健診などで問題になる家庭)には担当の社会福祉士をつけ、定期的に見守りを行うのが確実な方法だと思う。教員に把握をさせるのは、今の人員体制では無理である。</p>
	<p>どのような支援が可能で具体的な支援の形が現実実施できるのか、また関係機関が有機的に連携して柔軟で途切れのない支援が可能なのか。具体的な支援の在り方がなかなかイメージできない。</p>
	<p>両親共に耳が不自由、祖父母とは別居、弟は特別支援学級、という女子生徒を担当しました。 小学校の引き継ぎで家庭状況は知っていたものの、経済的に厳しかったり、親との意思疎通が難しかったり…と様々な困難がありました。結局本人が不登校になってしまい、そのまま大きな進展もなく彼女の中学校生活が終わってしまいました。 その頃は「ヤングケアラー」という言葉もなく、友達の手支えも乏しく、彼女の苦しみを支えることができなかったのが今でも心残りです。 家庭と学校だけでなく、地域や自治体、NPOや様々な方と連携してその家庭に携われたら、もしかしたら状況は変わっていたかもしれません。</p>
	<p>教員として、生徒の自宅への家庭訪問や、登校した生徒に対して会話や相談に乗ることはできる。しかし、担任としての業務、部活動指導、校務分掌などを抱えた中、家庭訪問や相談機関への連絡などを抱えることは勤務時間内には物理的に不可能。 話を聞いたり、相談に乗ったりすることはできるが、必要とされることは、経済的な支援や介護などの支援であることが多い。また、そうした支援が受けられることを知らずに生活をしているという場合が多かった。ヤングケアラーが社会的な問題であり、教員は気づきやすい立場であるということはわかるが、どのような支援があるかや支援の申請の方法など、直接的に家庭をサポートできる専門的なスタッフが必要だと思う。 今後、年度初めの家庭訪問などがなくなり、家庭の様子が見えにくくなるのが考えられる。日頃の生徒に近いという意味で、教員が気づくことは大切だと思うが、教員が気づいたときに、それを代わりに調査し、支援につなげられるような専門職が必要だと感じた。 ヤングケアラーへの支援も教員の仕事となると、更に限界を乗り越え、教員という仕事が完全に崩壊すると思う。</p>
<p>生徒がヤングケアラーだと思っても、保護者にその認識がない場合、生徒の気持ちに寄り添うしかできませんでした。家庭のことに学校は口を出せない部分が多く、どうしてもやれば良いのかわかりません。学校でヤングケアラーの発見はできてもその先の支援につなげるのは困難です。ヤングケアラーにいる生徒を救いたいし助けたいですが、発見した後に支援先へつなげることで学校が担うのは無理です。 自分の経験では、「幼い乳児の妹の面倒を見るために学校を休む児童」が該当すると思いました。しかし、本人も怠学傾向があり、本人も家庭も困り感がなかったので、支援が難しいと感じました。家庭の困り感がないと学校も行政も動きにくいというのが、難しいところだと思います。</p>	

(調査3：問12)

家族のお世話のために自分自身のことができなくなっている友だちがいたとき、あなたはどのように友だちを支えることができますか、と思いますか。

共感とコミュニケーション	お話を聞いてあげる。悩みの解決策を考える。その子が自分にして欲しい事をしてあげる。その子に希望を持ってもらえるようにする。無理や我慢をしないように伝える。その子が自分のしたい事をする時間を少しでも増えるように考えてあげる。自分に話してもらえなかったら信頼できる人を見つけてあげたい。その子の意見を尊重して考えてあげたい。助けてくれる人がいなかったら自分が助けてあげたい。辛かった事苦しんだことの気持ちを分かってくれたい。一つ一つのことに真剣に考えてあげたい。
	「あまり無理しないで、私を頼ってね。」と声をかける。
	友のお母様に友が無理しないように伝えます
	相談を誰にも話さないで共感してあげる
	まずは、相手の話を否定しないで、『うんうん』などと相手に共感してあげる。
	その人にしかわからない悩みだと思うから解決まで支えてあげるとは難しいかもしれないけれどその子の話してくれる範囲の悩みを全部聞いてあげたい
	まずは相手が話してくれるまで待って相手から話してきてくれたら真剣に話を聞く。そして相手が相談しづらかったり言いたくなかったら相手を楽しみと思えることをしてあげたい。
	話を聞き、共感してあげる。解決方法を一緒に探す。
	褒に励ましたり、意見したりするのは、逆に追い詰めてしまうのではないかと、怖いです。その子がどうしたいと思っているのか、ゆっくり見極めて、勉強のことなど、学校でできる範囲でサポートしていきたいです。相談されたら親身に話を聞いて、辛さに共感してあげることが重要だと思います。
	相談にのってあげたり、友達が、困っていたら、進んで声をかける
解決策を出すのは難しい、でも相談を聞き、寄り添う事は出来る	
具体的な支援	タブレットなどで補助金などの手当があるか調べて、知らせたり、相談相手になったりして支えることができると思う。
	私自身で解決できる問題ではないので、学校の人や親に相談して解決方法を考え、相手ができる限り自分のことに集中できるようにする。
	料理教えたり、その他の家事を教える
	相談できる窓口などを調べて紹介する
	相談にのってあげる 支援センターや先生などに言うなど
	一緒に、わからないところの勉強をしたり、支援やサービスを調べることで、友達の気持ちを少しでも軽くすること。
	その友達の家に行って手伝う、羽を伸ばしてもらうために1日だけ代わってあげる
	支援をしてくれるところのことを一緒に調べる
自分の宿題や、やる事が終わったら家に行って手伝う	
勉強を教える LINEではげましの言葉などを送る	
学校生活	勉強でわからないことを教える 進学や、就職の支援をする
	少しでも手伝えるように、宿題を手伝ってあげたりする！
	その友達に対する偏見や差別をしない。
	家庭内で大変なら、友達として労ったりそんなことを忘れさせるほどその子にとっての居場所になる
	友達がせめて学校だけでも楽しく過ごさせてあげる。相談にのる。励ましてあげる。
	学校で早く帰らなければならないならば、居残りでしないといけないことを代わりにする(中学生になった時の話)
学校では気を休められるようにいろいろな話を聞いてあげたり学校は楽しい所だと思えるような場所にする	
大人につなげる	まずは周りの大人に秘密で教える。
	相談にのってあげたり、学校ではあまり無理させないであげたり、私の親に「家族のお世話のために、自分自身のことができなくなっている友達がいる」ということを相談する。
	自分に相談されたらそれをできるだけ深く探らずそっと大人に相談したりしてみる。それか、その友達と一緒に相談する。
	先生などに相談する？などと声をかけてあげる。
	親に言う
	自分の親に言って他で何かサポートはないか聞いてもらう、知ってる大人に相談する
相談に乗ってあげるとかスクールカウンセラーの先生に相談。	

(調査3：問13)

家族のお世話のために自分自身のことができなくなっている子どもたちをサポートするために必要だと思うことを自由にお書きください。

共感・寄り添い	ストレスがたまっている子やどうしたらいいかわからない子が安心してするためにこっちが親身になってあげる 話しくらい心を開いたら心をひらくために優しくしてあげたり、話かけてあげる こっちから声をかけてあげるのもいいけど、向こうから声をかけてくれるために気軽に声をかけられるように、あまりかたくるしくしないようにする
	相談できる場所を作ることとその子の気持ちに寄り添ってくれる人を見つけること
	1番つらいのは、その人自身だからその人と話すことが目的ではなくその人が満足すること。
	相談できる場所を作ることとその子の気持ちに寄り添ってくれる人を見つけること
	大人が子どもが相談する前に気づいてあげて支えてあげることが大切だと思う。 ・まわりの人が気づく・しっかりヤングケアラーのことを知ってからサポートする・子供のことを知る・子供の気持ちをよく考える
具体的な支援・提案	働くことが難しい家族がいる子どもたちへの募金（学校のためなど。満足できる学習環境）。国や市町村などの税金でサポーターさんを雇う。
	相談しやすい環境を作ってあげる
	そう言う子たちのための相談窓口を、 「ヤングケアラー」も家族も助けてあげる
	暇な人たちがヤングケアラーの子どもの家に手伝ってあげるといいと思った
	お金をかけないでご飯をあげたり、学校を作ったり、学童のようなサポートをする団体を作ってあげる
	先生だけでなく気付いたら声をかけてあげることが必要
	介護できる施設になるべく低額で入れてあげて家庭教師などをつかせてあげる。
	普通に暮らしている子供達と同じ生活を学校面だけでも同じにしてあげる事。例(学校に必要な文房具などのお金をただにしてあげる。)
	匿名で相談できるチャットシステムがあると悩みを相談できると思う。 また、同じことで困っている人がいるかも知れないので、質問と回答を共有できる掲示板があるといいと思う。
	学校の先生や習い事などの先生自分からして安心できるのを作ったり、新聞やポスター配布するものを書いていろんな人知ってもらおうのいいと思う。
	子供たちが本来ならなくても良いことしなければいけない状況をなくす。 そういった家庭にシッターさんを送ってあげる。 食糧など、健康に生きていくために必要な物資を届ける。 学費を免除したり、負担になっていることを少しでも軽減させる。
	雇ったらすぐ家に来て何かをサポートしたりやってくれる人（派遣社員みたいな） ヤングケアラーをサポートするための募金 もっと楽にできるようになる道具の開発 ヤングケアラー専用窓口を作る その家族専用の施設
	「ヤングケアラーを見つけるアプリなど」が必要だと思います
スウェーデンのように消費税率などを高くして、福祉に使うお金高くする。	
議員の給料と年金を減らして、その分を国民に還元すること。	
その他の意見・感想	むやみに大人が心配すると相談しづらいから、近くにいる身近な同年代の子が相談に乗ってあげてそういうのを解決してくれるところに相談する。 遠回りから警戒がないように相談に乗ってあげる。そのあとは大人の力
	悩みは言えない人が多い。アンケートや相談室などを確保しても相談しづらいというのが私たちの悩みです。相談しても、その子と仲が悪くなってしまわないかというのが一番心配です。
	アンケートなどに書いたら、しっかり読む。 学校のアンケートで、無視されていると書いたけれど、全然注意などもしないため、まず、そこを直して欲しいです。

令和5年度前橋市ヤングケアラーに関する実態調査報告書

発行日 令和6年3月

発行 前橋市教育委員会事務局 教育支援課 青少年支援センター

〒371-0015 群馬県前橋市岩神町三丁目1番1号

電話番号 027(212)4039

分析 NPO法人青少年メディア研究協会